



青森県感染症発生情報
(2026年第17週)

I 第17週の発生動向 (2026/4/20~2026/4/26)

1. 水痘について、中南保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。
2. 日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「麻しんが疑われる場合の対応」です。
最終ページに掲載しています。

II 第17週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

	東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	8	0.73	14	1.40	6	0.60	10	1.67	10	1.11	5	0.83	53	1.02	-15
	新型コロナウイルス感染症	14	1.27	1	0.10	23	2.30	7	1.17	7	0.78	6	1.00	58	1.12	-20
	急性呼吸器感染症	706	64.18	400	40.00	485	48.50	373	62.17	301	33.44	367	61.17	2632	50.62	148
小児科	RSウイルス感染症	1	0.17	5	0.83	9	1.29					4	1.00	19	0.56	1
	咽頭結膜熱	5	0.83	4	0.67	4	0.57					2	0.50	15	0.44	8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	4.83	17	2.83	13	1.86	5	1.00	10	1.67	14	3.50	88	2.59	-19
	感染性胃腸炎	23	3.83	12	2.00	24	3.43	22	4.40	11	1.83	4	1.00	96	2.82	-5
	水痘	2	0.33	6	1.00	2	0.29			1	0.17			11	0.32	9
	手足口病			5	0.83					1	0.17			6	0.18	5
	伝染性紅斑															-1
	突発性発しん			1	0.17	3	0.43	1	0.20	1	0.17			6	0.18	-3
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎					1	0.14					1	0.25	2	0.06	2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.10	-2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															-1
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎															-7
	無菌性髄膜炎															0

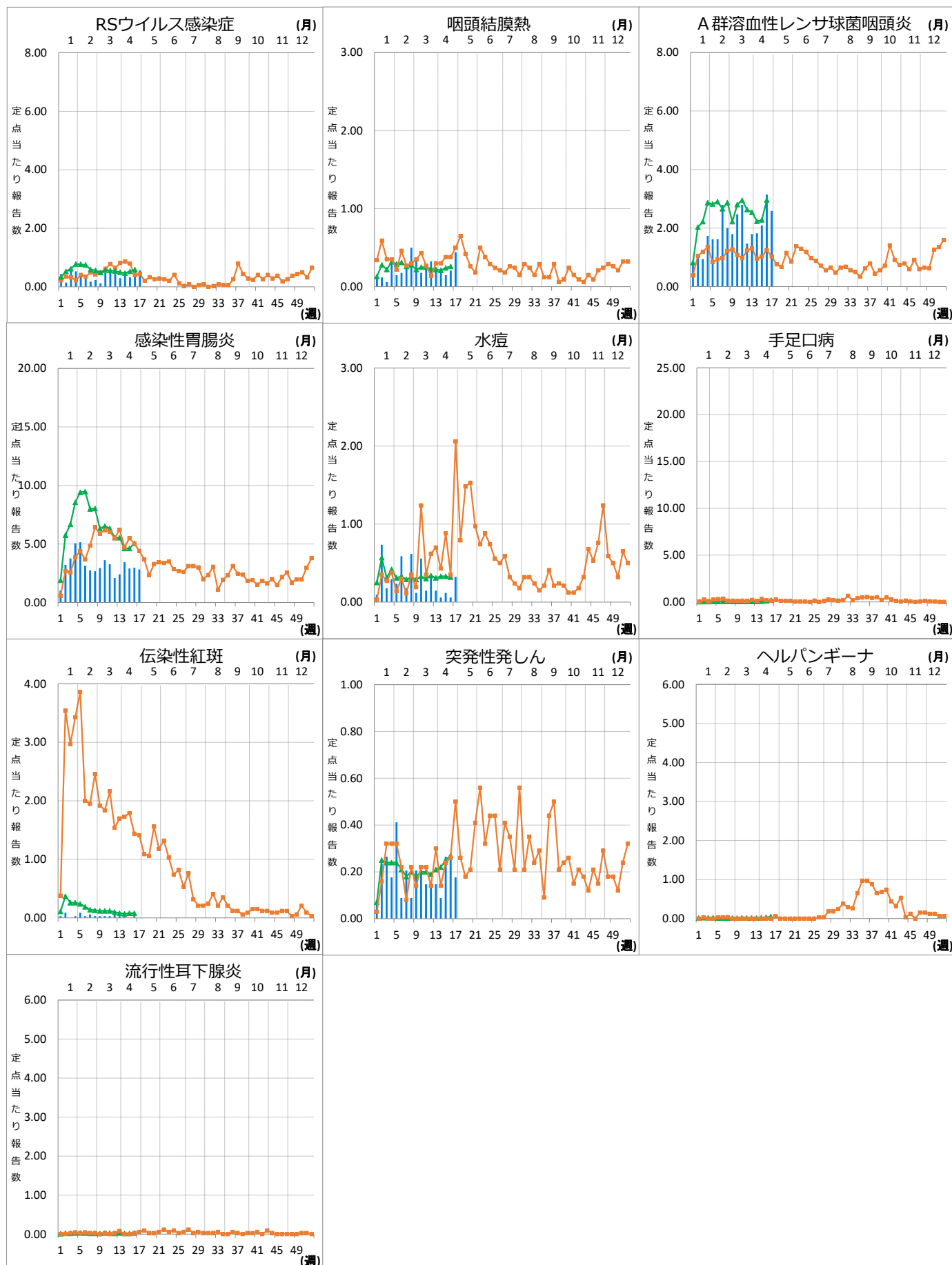
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第17週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2026年青森県、 は2025年青森県、 は2026年全国



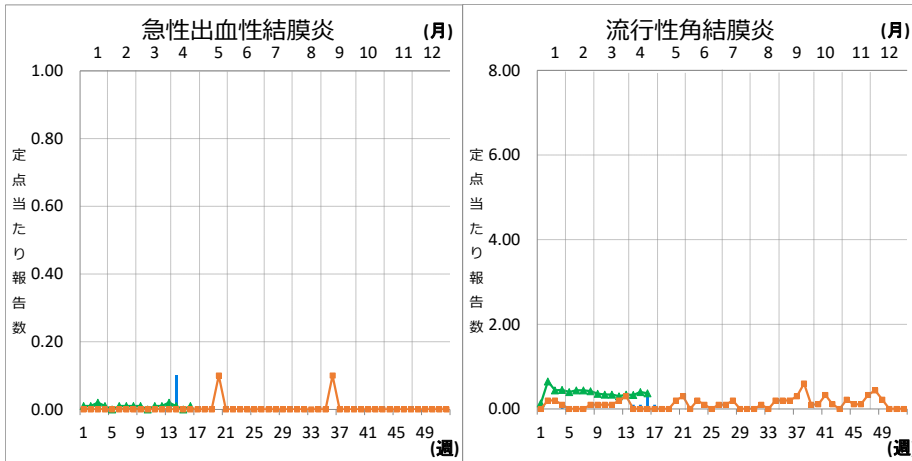
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026年第17週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← 青は2026年青森県、赤は2025年青森県、緑は2026年全国



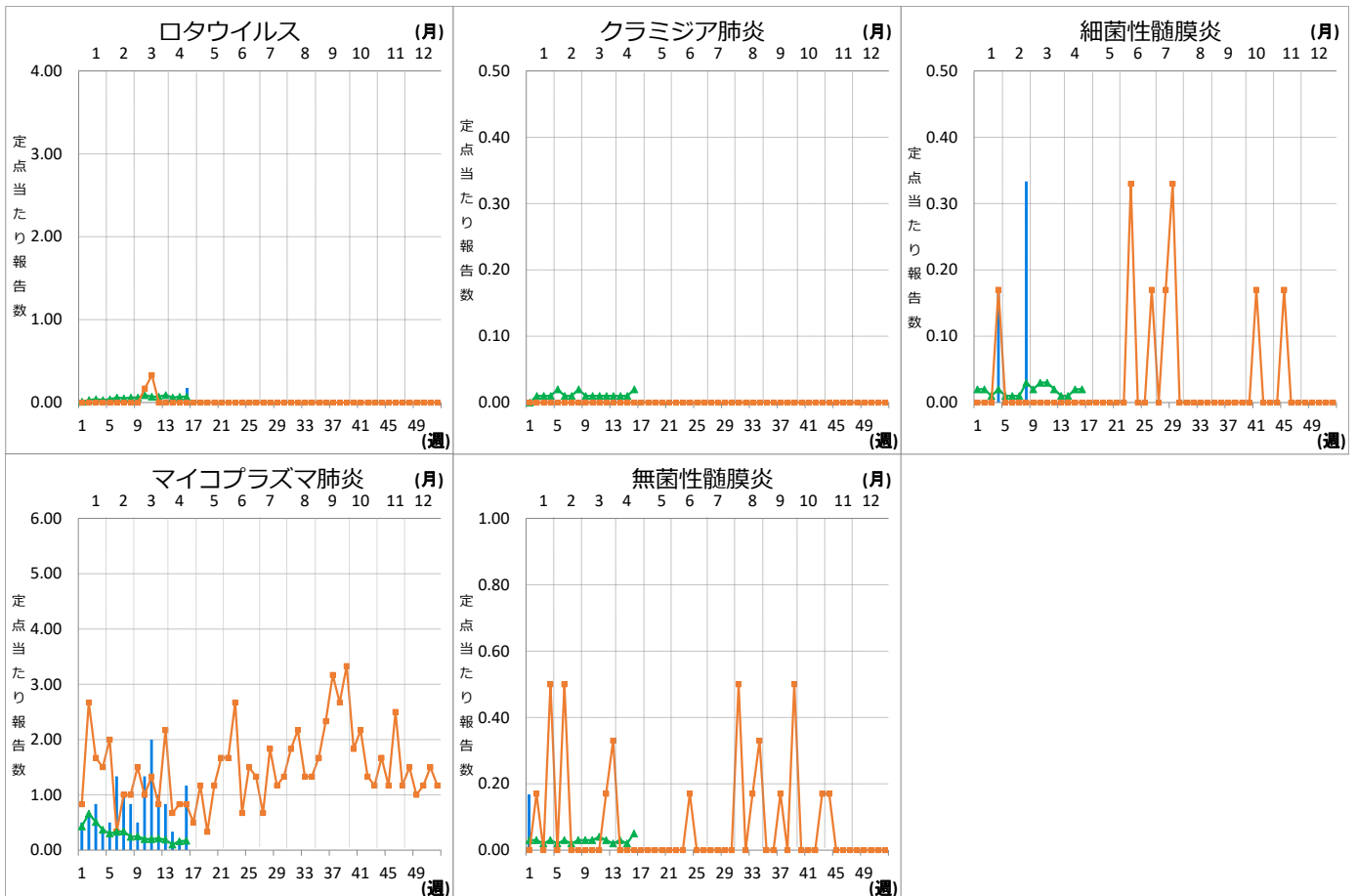
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026年第17週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026年第17週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2026年第10週～17週)

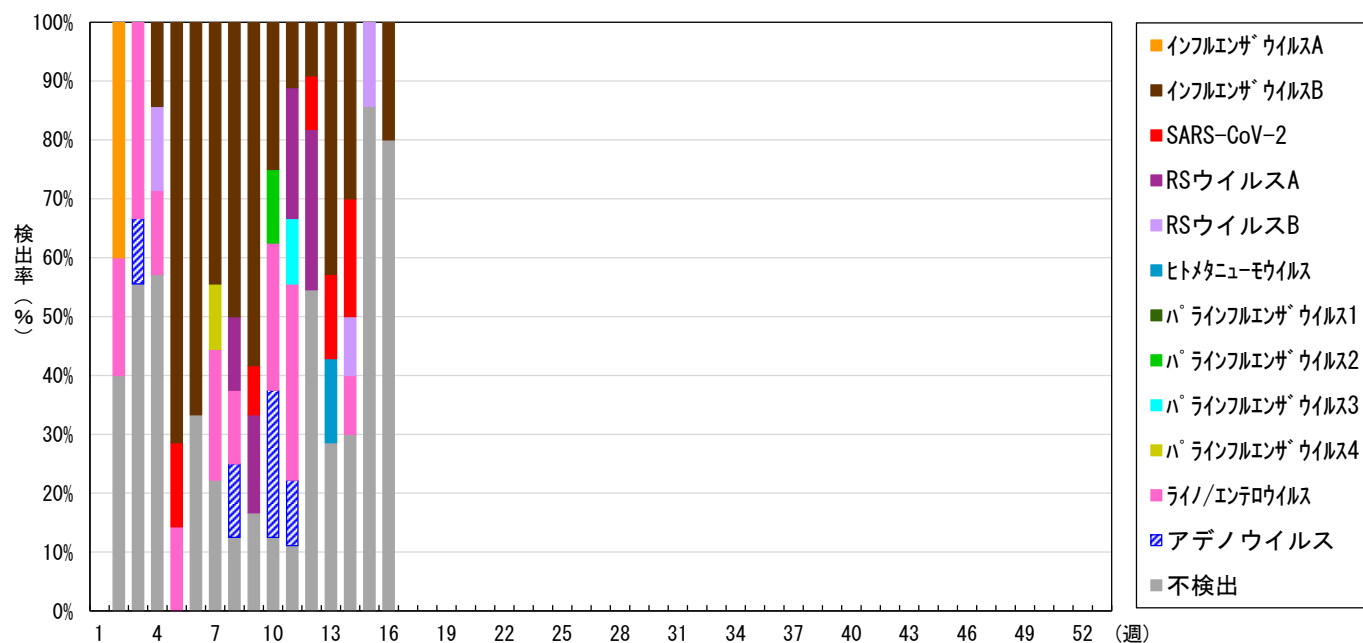
急性呼吸器感染症	2026年							
	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週
提出検体数	5	6	10	7	10	7	5	6
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	2	1	1	3	3	0	1	
SARS-CoV-2	0	0	1	1	2	0	0	
RSウイルスA	0	2	3	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	0	0	0	1	1	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	1	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	1	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	1	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	2	3	0	0	1	0	0	
アデノウイルス	2	1	0	0	0	0	0	
不検出	1	1	6	2	3	6	4	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	6

※第10週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが検出されたものが1検体、インフルエンザウイルスB、ヒトパラインフルエンザウイルス2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第11週に提出された検体のうち、RSウイルスA、パラインフルエンザウイルス3、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第12週に提出された検体のうち、SARS-CoV-2及びRSウイルスAが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2026年第1週～16週)



Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第17週）

- ・結核（二類感染症）：中南2人、上北1人、下北1人 (2026年計： 25人)
- ・梅毒（五類感染症）：青森市1人 (2026年計： 5人)
- ・百日咳（五類感染症）：八戸市1人 (2026年計： 17人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026年第14週～2026年第17週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
14	結核1人 侵襲性インフルエンザ 菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感 染症1人 百日咳2人			
15		侵襲性肺炎球菌感 染症1人 梅毒1人	百日咳2人		腸管出血性大腸菌感 染症1人 梅毒1人	
16	結核1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人	アメーバ赤痢1人 百日咳1人	結核1人		
17	梅毒1人	結核2人	百日咳1人		結核1人	結核1人

第16週に八戸市保健所管内でアメーバ赤痢1人の届出がありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2026年第1週～第16週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	4131	26	571	9	5	197	63	5	39	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	1	16	37	27	12	1	10	504	3	150

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	57	296	6	144	4	54	464	259	12	158

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	多剤耐性緑膿菌感染症	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん
累積報告数	20	1010	231	15	3253	61	25	30	2436	1

分類	五類	五類
疾病名	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	362	6

青森県（2026年第1週～第17週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	アメーバ赤痢	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	25	6	3	1	2	5	1	4	7	6

分類	五類	五類
疾病名	梅毒	百日咳
累積報告数	5	17

XI 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅷ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026年第17週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第17週	児童・婦人関係施設等	30	青森市保健所

2026年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)	
		1-5週	6-9週	10-13週	14週	15週	16週	17週	18週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週		49-52週
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	6	0	1	1	0										12
	発症者数	37	44	69	0	14	9	0										173
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	1	1	1	0	1										8
	発症者数	92	0	30	12	31	0	30										195
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0										2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0										38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0										0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0										0
計(月別)	件数	7	2	8	5												22	
	発症者数	149	44	117	96													406

感染症の窓

麻疹（はしか）は、麻疹ウイルスに感染して起こる急性の全身感染症で、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状があらわれます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんがあらわれ、肺炎や中耳炎、時に脳炎など重篤な合併症を併発し死亡する可能性もある急性熱性発疹性疾患です。

麻疹ウイルスは、感染力が非常に強く、簡単に人から人に感染しますので、麻疹の疑いがある方は、医療機関を受診する際に、周囲への感染を防ぐため、以下の点に注意する必要があります。

- (1) 受診前に麻疹の疑いがあることをかかりつけ医又は医療機関に電話等で伝え、受診の可否や注意点を確認してから、その指示に従ってください。
- (2) 医療機関への移動の際には、マスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [麻疹（はしか）（厚生労働省 HP）](#)



麻疹が疑われる場合の対応

感染症対策

麻疹（はしか）に

ご注意ください



症状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったがぜのような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症するとされています。

感染経路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

予防方法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外遊覧を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

！ 海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

厚生労働省

感染症対策課 2025年3月 作成



出典：厚生労働省 HP